



先月の学び

●町田 宗一郎
医療歯科連携 糖尿病と歯周病について
紡ぎ大学
宮園・佐藤先生経営セミナー
ササキ予防セミナー

優和会
Staff Blog
随時更新中!!

●町田 由美子
県歯常務会
県歯理事会
在宅医療連合会会議
地域包括ケア委員会
在宅歯科医療連携室会議
後期高齢者歯科口腔健診会議
在宅歯科医療研修会
女性歯科医師の会講演会
ケアカフェ 災害と栄養

啓蒙活動

熊本歯科衛生士学院講師
天明中学校保健委員会

優和会はママと子どもの歯医者さんに
加盟しています。

ママと子どものはいしゃさん。



ママと子どもの歯医者さんは
安心安全、そして誠実な治療を提供する
全国的に展開している歯科医院グループです。

お問い合わせ : machididentalclinic@yahoo.co.jp 優和会 NEWS LETTER 内の文章・画像全て転記・転載不可。無断使用お断りいたします。

知ると怖い・・・歯周病



歯周病は全身の健康の関係に大きく関係していると言われています。どんな病気に関係しているか知っていますか？

アルツハイマー型認知症

歯周病菌はアルツハイマー型認知症の病態を増悪させる可能性が指摘されています。歯周病による炎症反応でアルツハイマー型認知症患者の脳内に蓄積されるアミロイド β という物質が作られることが報告されています。

糖尿病

糖尿病が歯周病を悪化させる一方で、悪化した歯周病が糖尿病の病態に悪影響を及ぼすことを示す研究結果が多く報告されています。糖尿病と歯周病の間には双方向の関連性があります。

心血管疾患

歯周病菌が血管に入り込んで血管を傷つけたり、歯周病によって產生された炎症性の物質が血管に炎症を引き起こしたりすることで、心血管疾患の原因となる動脈硬化を誘発・悪化させていると考えられています。

関節リウマチ

関節リウマチ患者は歯周病の罹患率が高く重症化しやすいという報告があります。歯周病と関節リウマチの原因・病態には共通点が多く炎症性の物質が過剰に產生されることで病気が進行すると考えられています。



少しの工夫ができる 高齢者の窒息事故を防ぐ方法

高齢者に発生する窒息事故のタイミングは食事の最中が最も多くなっています。



高齢者の窒息事故を防ぐ方法

- ①食品を小さく切るなど食べやすい大きさにする
(高齢者のかみ砕く力が弱い為)
一人ひとりの嚥下機能に合わせたサイズにカットするようする、細すぎて食塊が作りづらくなってしまうのは、窒息事故予防に逆効果となる
- ②一口の量は無理なく食べれる量にする
- ③急いで飲み込まず、ゆっくりとよくかみ砕いてから飲み込むように促す・見守る
- ④食事の際は、最初にお茶や水等を飲んで喉を湿らせる
(食べ物の通過を良くする)

事故発生件数が一位の『餅』にも注意が必要です。餅は温度が下がるにしたがって硬くなる性質があります。その為口の中に入れて喉を通る時には温度が下がり硬くなっています。さらに、餅は温度が下がるほどくつつきやすくなるので、口の中で餅同士がくつつきやすくなり、喉に張り付きやすくなります。特に注意が必要です。

異物による窒息については、認知症での異食行為が原因となっている事が多いです。口に入れる事のできる大きさの物は、手の届く範囲に置かないようにしましょう。

医療法人社団 優和会 保険医療機関・労災保険指定医療機関、バリアフリー化、施設内全面禁煙、熊本県ハートフルパス制度協力、歯科健診査・妊婦歯科検診・歯の健康相談・患者満足度調査実施、歯科医師臨床研修施設、見学・実習生・インターナーシップ 随時受入れ中